

議会の今を伝える

2013. 5. 1 No.29

編集：議会だより編集委員会 印刷：有限会社 利根印刷所
発行：沼田市議会議長 大島 崇行
〒378-8501 沼田市西倉内町780
TEL:0278-23-2111 FAX:0278-22-6333

沼田市 議会 だより



グリーンベル21の全景：テナント出店促進事業費補助金をめぐり議論が交わされました。

3月定例会号

本定例会は、3月1日に招集され、22日までの22日間の会期となりました。付議案件は、市当局から条例22件、予算8件、補正予算9件、その他5件、合計44件が提出され、原案可決（一部修正）となりました。

議会からは、条例1件、意見書案3件と請願3件が提出され可決、採択となりました。

3月定例会の概要

議会日程表

日	会議	内容
4	本会議	開会 提案理由の説明 質疑・討論・採決
7	本会議	一般質問（4人）
8	本会議	一般質問（4人）
11	本会議	一般質問（4人）
12	本会議	質疑・討論・採決
14	委員会	予算審査特別委員会
15	委員会	予算審査特別委員会
18	委員会	予算審査特別委員会
19	委員会	予算審査特別委員会
21	委員会	民生福祉及び経済建設常任委員会
22	本会議	提案理由の説明 委員長報告 質疑・討論・採決 閉会



アベノミクスにつ
いて
身近なところで受
けたい福祉
沼田市の財務状況
について

石川 初雄 議員



将来を見据えたま
ちづくりについて
椎坂バイパスにつ
いて
教育の現場につ
いて

布施 辰二郎 議員

Q2 輸入される肥料や飼料及び燃料の値上げにより、採算の悪化が予想される農業、酪農などの経営についての支援策について

A2 輸入される肥料や飼料及び燃料の値上げにより、採算の悪化が予想される農業、酪農などの経営についての支援策について

Q4 都市再生整備計画事業及び社会資本整備総合交付金などの

A3 中学校耐震診断・耐震補強事業や都市公園の安全安心対策事業などを予定しています。

A5 本市の支援体制につきましても、商業振興策や各種の施設整

Q5 サービス付き高齢者住宅についての、中町地内において民間の団体により聞き取り調査と建設計画が進行していますが、支援体制を市長にお伺いします。

A6 財政調整基金の適正額というものは、確たる基準が別にあるわけではありませんが、今後の地方交付税の合併算定替の縮減に伴う財源不足への備えとして、財政調整基金の確保に努めていきます。

Q6 体罰といじめの問題について、本市の現状を伺います。

Q1 平成24年末の政権交代による事務事業をどのように予測するのか伺います。

A1 本市としましては、国・県の動向が直接大きな影響を及ぼすことを深く認識し、今後、明らかになっていくであろう平成25年度予算、関連事業及び制度等について、注視していきたいと考えています。

Q3 中心市街地土地地区画整理事業の進捗状況を伺います。

A3 仮換地指定率は28.1%で、平成24年度末の総事業費ベースでの進捗率は41.5%の見込みです。

Q4 街なか整備事業が10年間延べ伸されたが当初計画より大分遅

A4 街なか整備事業が10年間延べ伸されたが当初計画より大分遅

Q7 報道等で発表されているが、市内の教職員で駆け込み退職はあったのか伺います。

A7 本市においては、駆け込み退職は1件もありませんでした。

Q2 交付税の合併算定替について、特例措置の期限を迎える26年度以降の激変緩和措置に對し、どう対応していくのか伺います。

A2 平成27年度以降を見据え、行政改革推進本部による行財政

Q4 街なか整備事業が10年間延べ伸されたが当初計画より大分遅

A4 街なか整備事業が10年間延べ伸されたが当初計画より大分遅

A5 椎坂バイパス開通時のイベントについては、事業主体の群馬県、国道120号線整備改良促進期成同盟会、片品村等関係者と実施に向けて今後協議していきたいと考えています。

Q5 国道120号椎坂バイパスについて、椎坂トンネルの前倒しによる開通で市民記念事業等を検討しているか伺います。

A5 椎坂バイパス開通時のイベントについては、事業主体の群馬県、国道120号線整備改良促進期成同盟会、片品村等関係者と実施に向けて今後協議して

Q7 報道等で発表されているが、市内の教職員で駆け込み退職はあったのか伺います。

A7 本市においては、駆け込み退職は1件もありませんでした。

Q6 体罰といじめの問題について、本市の現状を伺います。

A6 いじめの件数については、平成22年度は小中学校で26件であり、今年度は2月1日現在で14件です。そのうち13件が解消済みで、1件が指導中です。どの件についても事実確認、保護者との連携、児童生徒のケア、全体への指導など丁寧な対応に努めています。

Q1 平成24年末の政権交代による事務事業をどのように予測するのか伺います。

A1 本市としましては、国・県の動向が直接大きな影響を及ぼすことを深く認識し、今後、明らかになっていくであろう平成25年度予算、関連事業及び制度等について、注視していきたいと考えています。

A4 事業開始後の合意形成の遅れがあったり、時代の変化による厳しい財政状況のもと事業費の見直しを余儀なくされ、長期化したものと考えています。

Q6 体罰といじめの問題について、本市の現状を伺います。

A6 いじめの件数については、平成22年度は小中学校で26件であり、今年度は2月1日現在で14件です。そのうち13件が解消済みで、1件が指導中です。どの件についても事実確認、保護者との連携、児童生徒のケア、全体への指導など丁寧な対応に努めています。



**安心・安全について
新エネルギーについて
地域対策について**

坂庭 直治 議員



**椎坂バイパス開通について
空き家の適正管理について
小・中学校の統廃合について**

金子 一弥 議員

Q1 安心して暮らせる生活環境について、一般住宅の耐震化と福祉住宅の建設についてお伺い致します。

A1 平成20年3月策定の耐震改修促進計画では、平成27年度末における目標値を80%と掲げ、耐震化に関する補助制度の積極的な活用を周知を図ることにより耐震化の向上に努めていきます。福祉住宅の建設につきましては、低額所得者等への配慮をしつつも、公平性に欠くことの無いよう、事業化について研究していきたいと考えています。

Q2 道路・橋梁補修、補強整備についてお伺い致します。

A2 これらは経年とともに老朽化が進み、継続的な社会資本サービスを提供するうえでは、計画的な維持管理、補修等が必要となつていますが、膨大な費用を要するため、計画性をもつて費用の平準化やトータルコストの縮減を検討する必要がありますので財政状況を勘案し、緊急性や優先順位に留意して、整備・補修等を行ってまいります。

Q3 農林業への有害鳥獣対策についてお伺い致します。

A3 電気柵等による守る対策と捕獲等による数を減らす対策と実施しており、平成23年度からは、沼田市鳥獣対策協議会を立ち上げ、連携して対応しているところです。

Q4 新エネルギーのバイオマス発電やハイブリッド風力発電等についてお伺い致します。

A4 バイオマス発電ですが、間伐や伐採で発生する未利用木材は、広大な森林面積を抱える本市にとつて豊富なバイオマス資源であると考えておりますが、発電の実施主体も含め、十分な検討を加えていく必要があると考えています。また小規模な風力発電であれば蓄電池の併用で鳥獣対策などには有効であるとも考えられますので、研究を進めたいと考えています。

Q1 椎坂バイパス開通について、未解決の用地について、11月の供用開始までに問題の用地の解決はできるのか伺います。

A1 事業主体の群馬県から今年11月の供用開始までの解決は現状としては非常に難しい状況であり、土地収用法の手續きと並行して地権者のご理解を得たいと伺っているところです。

Q2 利根町では大きな期待を寄せている一方、衰退が予想される商業について、想定できる施策等があるのか伺います。

A2 地域商業を取り巻く環境は、全国的に衰退傾向にあり、特に車社会の急速な進展や大型店の出店等により購買力が落ち込み、商業の衰退が懸念されています。商業振興施策として加盟店におけるスタンプリーや商品券の販売事業等を展開しています。今後沼田市東部商工会や商業関係者とさらなる連携を図り、地域に根ざした施策について、研究していく考えです。

Q3 空き家での火災の発生、または防災の面からも空き家対策が急務と考えられますが、現在沼田市での空き家の数はどのくらいなのか伺います。

A3 当市の水道台帳を基にした閉栓状況の調査結果からは、平成25年1月末時点で、約3,400戸が空き家と思われ、空き家率は約14%です。今後、効率的な実態調査の手法及び条例の制定について、先進する他の自治体の情報を踏まえ、検討していく考えです。

Q4 平成24年度対比平成30年見込みですが、小学校500名の児童の減、中学校254名の減、合計754名の減となります。適正な生徒数の維持のための小・中学校の統廃合について教育長の所信を伺います。

A4 小学校によっては、児童数がおよそ半減し、群馬県の学級編制基準により2学年を1学級編制にしなければならぬ学年が4学年にも渡るようになってしまふ学校もあります。児童の教育を第一に据えて、保護者や地域の方々の意見を伺いながら対応していくことが大切であると考えています。



愛宕老人ホーム

**防災対策について
老人ホームの充実
について**
トリチャー・コ
リ
ンズ
症
候
群
の
疾
患
に
対
す
る
支
援
に
つ
い
て

片野 彦一 議員



利南運動公園

**企業誘致について
幾つかの再生工
場
の
取
り
組
み
に
つ
い
て**
(仮称)利南運動
広
場
整
備
事
業
に
つ
い
て

大竹 政雄 議員

Q1 本市の住宅の耐震化率は、昨年3月末時点で、約56%で、学校における平成24年度末見込みの耐震化率は、84・1%です。平成20年3月策定の沼田市耐震改修促進計画において、平成27年度末での住宅の耐震化率の

Q1 建物の耐震化について、現在の住宅の耐震化率と今後の耐震化はどのように進めるのか、伺います。
小中学校の耐震化進捗率と今後の対応について、国では94%、群馬県では98%としていますが沼田市の目標はどのように設定し、どう取り組むのか伺います。

Q1 関越自動車道沼田インターチェンジから至近で地形も平坦な横塚生品農工地区は、企業の立地先としてのポテンシャルも高く、県等において工場適地として紹介いただいております。引き続き、努力していただく考えで

Q1 横塚の工業団地については、当時から各議員よりさまざまな指摘を受けてきましたが、中止の判断はしてきませんでした。根本的に企画・計画をつくり直し、初めからやるべきと思いますが、これからの企業誘致について市長の見解をお伺いいたします。

A2 実践の中で活用され、被災者支援や復旧・復興に大きな効果を発揮したこと、さらに、全国の自治体で活用できるよう

Q2 被災者支援システムは、罹災証明書の発行から支援金や義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入居など、一元的に管理できるものです。
本支援システムの導入についてのお考えを伺います。

A2 発電燃料として未利用木材を活用する道筋ができれば、ひいては、森林整備や雇用創出にもつながる取り組みです。燃料調達には相当数の山林所有者のご理解・ご協力を得ないと供給が困難であることから、発電事業者と山林所有者の仲立ちとして、行政や森林組合など

Q2 バイオマス発電について、本地域は森林面積が多く、枝払いや伐木といった森林整備や、ごみ処理の並行事業として取り組むべき課題と考えていますが、市長の見解をお伺いいたします。

A3 本市のひとり暮らしの高齢者数は、平成24年6月1日現在1,831人であり、毎年増加しています。
地域密着型の施設については、平成18年度より順次、計画的に整備を進めています。
県が所管する特別養護老人ホームでは、平成25年度に27床増床

Q3 一人暮らしの高齢者が増え、老人ホームへの入所が困難である今日、施設増加は出来ないか伺います。
A3 本市のひとり暮らしの高齢者数は、平成24年6月1日現在1,831人であり、毎年増加しています。
地域密着型の施設については、平成18年度より順次、計画的に整備を進めています。
県が所管する特別養護老人ホームでは、平成25年度に27床増床

A3 少子高齢社会が進展する中で、身近で快適な商店街づくりを目指す取り組みとして、また、省エネをアピールする効果も高いと考えられますので、国の補助制度などの動向も見極めながら、新たな助成策を検討してい

の役割があるのではないかと考えています。
Q3 節電対策の取り組みを、市民協働で行っていくような施策を考えていく必要があると思います。行政として各団体等に、省エネ対策として補助制度をつくるべきと思いますが、市長の見解をお伺いいたします。

A4 群馬県では、従来の障害者自立支援法の補聴器の支給対象外である軽・中度の難聴児童に対し、補聴器購入費用の一部を助成する事業を平成25年度の事業化に向け検討を進めています。
本市でも、その発達支援を図るため、県と連携しながら事業実施に向け検討していく考えです。

Q4 トリチャー・コリンズ症候群の疾患に対する支援について沼田市の支援の実態はどうなっているのか伺います。
A4 群馬県では、従来の障害者自立支援法の補聴器の支給対象外である軽・中度の難聴児童に対し、補聴器購入費用の一部を助成する事業を平成25年度の事業化に向け検討を進めています。
本市でも、その発達支援を図るため、県と連携しながら事業実施に向け検討していく考えです。

公開されていることから、本市でも被災者支援システムの導入を研究していく考えです。
Q3 一人暮らしの高齢者が増え、老人ホームへの入所が困難である今日、施設増加は出来ないか伺います。
A3 本市のひとり暮らしの高齢者数は、平成24年6月1日現在1,831人であり、毎年増加しています。
地域密着型の施設については、平成18年度より順次、計画的に整備を進めています。
県が所管する特別養護老人ホームでは、平成25年度に27床増床

く考えです。
Q4 (仮称)利南運動広場は、ようやく整備が始まるということとで、新年度を迎えるに当たり、どのような検討をされたのかお伺いします。
A4 庁内に利活用検討委員会を設置して、今後の利活用方法についての検討を行いました。
検討委員会の検討結果により、概ね3段で構成されているうちの上段の部分を、多目的の運動広場として、当面の間、利活用することとし、その整備に係る費用を平成25年度予算に計上させていただいたものです。



市政運営について
観光事業について
米軍機の低空飛行
訓練について
歴史・文化遺産に
ついて

大東 宣之 議員



誰もが「出番」と
「居場所」のある地
域社会を目指して
進んについて
障がい者の雇用促
進について

高柳 勝巳 議員

Q2 はとバスツアーの状況とこ
めていく考えです。
市民サービスの充実・向上に努
めるべく観光・交流をはじめとし
た諸施策の展開を図るとともに
、基礎自治体としての使命で
ある市民の安全・安心の確保と
市民サービスの充実・向上に努
めていく考えです。

A2 はとバスツアーの催行回数
は8回、述べ150名のお客様
をお迎えすることができました。
地元「おもてなし」につい
て、お客様から大変良い評価を
いただいた、とのお話があり、
6・7月のツアー造成でも企画
が順調に進んでいるところで
す。

A3 夏休みなどを活用したイン
ターンシップの受入れは学生に
とつても地元企業にとつてもメ
リットの大きいものと考えます。

A4 観光資源の中には、隠れた
逸材もあると思っています。
今回締結した横浜商科大学と
の協定などを活用し、発掘や磨
き上げにご協力いただきたいと
考えています。

Q1 市政運営において何を重点
的に取り組むのか伺います。
A1 合併後10年という大きな節
目をとらえて構造改革に取り組
み、後顧の憂いを残さぬよう、
これまでも増した行財政改革
を推し進めていくことが肝要と
考えています。

A2 横浜商科大学との連携をど
のように進めるのか伺います。
A3 夏休みなどを活用したイン
ターンシップの受入れは学生に
とつても地元企業にとつてもメ
リットの大きいものと考えます。

A4 観光資源の中には、隠れた
逸材もあると思っています。
今回締結した横浜商科大学と
の協定などを活用し、発掘や磨
き上げにご協力いただきたいと
考えています。

A5 市民に大きな不安と動揺を
与えるような航空機の飛行を容
認することはできませんが、防
衛は国の専管事項であり、関係
機関と連携し、適切な対応を図
っていく考えです。

Q2 大規模事業所としての沼田
市役所での障害者雇用の状況に
ついて伺います。
そして、本年4月から「改正」
される障がい者の法定雇用率の
引き上げに際して、どう対応し
ます。

A2 障がい者の法定雇用率の
引き上げに際して、どう対応し
ます。
障がい者の法定雇用率は2・32%であり、
地方公共団体の法定雇用率であ
る2・1%を達成しています。
障害の有無にかかわらず、誰
もがその能力と適性に応じた就
労の機会を得て、自立した生活
を送れることが、地域社会の安
定と発展の基礎となるものと認
識しています。

A3 主に産業振興の視点から情
報の収集や提供を行ってきた中
では、従業員の定着や採用に課
題があるとの声もあり、地域の
企業と求職者とのマッチングも
課題であると認識しています。
市では、若年の求職者を試行
的に雇用する企業に奨励金を交
付し、常用雇用への移行や就業
機会の拡大を図ってきました
が、国の試行雇用奨励金制度と
連携しつつ、障害のある人や年
齢層の拡大を検討しています。
こうした取り組みを通して地
域における多様な雇用が図られ
るよう努めていきたいと考えて
います。

A4 景観・食・文化・歴史・体
験等の観光資源の発掘や整備発
信にどう取り組むのか伺います。
A4 観光資源の中には、隠れた
逸材もあると思っています。
今回締結した横浜商科大学と
の協定などを活用し、発掘や磨
き上げにご協力いただきたいと
考えています。

Q1 本市内企業における障がい
者雇用の実態について伺います。
A1 本市の常用労働者56人以上
の企業における障害者雇用率は、
1・75%で、法定雇用率1・8%
を達成している企業の割合も
76・9%となっており、群馬県
の平均雇用率1・59%、達成率
47・8%をそれぞれ上回ってい
ます。

Q3 本市では、目的は別にして
も観光や企業誘致での専門部門
があり、商工会議所等との日常
的なつながりも有している経済
部と連携し、企業訪問を始めと
した情報入手方法の改善につい
て、何か改善が図れないかと考
えるわけですが、市長の考え方
を伺います。

Q6 富岡製糸場と絹産業遺産群
の世界遺産推薦を沼田市として
どう活かし、本市の絹遺産をど
のように保存・整備し情報発信
するのか伺います。
A6 絹産業遺産群を含む「ぐん
ま絹遺産」の登録をはじめ、本
市からは、「薄根の大クワ」「旧
鈴木家住宅」「利根風穴」の3
件が登録となっていますが、絹
遺産の調査を進め「ぐんま絹遺
産」への推薦を行い、登録件数
を増やしていく考えです。

子どもたちへの放射
性物質影響健康検査
の実施について

超高齢化社会に向け
てバス路線と地域医
療の充実について



関越交通車庫

井之川 博幸 議員

Q1 沼田市が「原発事故子ども・被災者支援法」の適用地域になるよう関係省庁等に働きかける必要性を伺います。

A1 今回の法律に基づく支援対象地域について研究を進めていく考えです。

Q2 「支援法第13条」においての住民、特に子どもたちと妊産婦の長期的な健康検査を行ない、早期治療が行なえるよう関係省庁等に働きかけることこそ必要と思いますが見解を伺います。

A2 今後も引き続き国や県の動向を注視し、情報収集に努めていく考えです。

Q3 高齢地域に対応したバス路線及び利用者対応の充実について伺います。

A3 利用状況等を検証しながら、交通弱者である高齢者の足の確保を図っていく考えです。

Q4 予約制で乗客がいるときだけ運行するというデマンドバスの導入について伺います。

A4 デマンド運行試案を作成し、沿線地域で懇談会を開き、意見を伺いましたが、利用する高齢者から反対意見が強く、デマンド運行にすることで利用者が減少すること、さらに費用対効果などを勘案した結果、定時定路

線方式を継続し、運行方法を見直しすることいたしました。今後も利用者の増加に努めるとともに、利用状況を勘案しながら引き続き見直しの検討を続けていきたいと考えています。

Q5 桜町に設置され、年間延べ三千七百人が利用している「いこいの家」の評価を伺います。

A5 高齢者の活動の場としての役割を担っていると認識しています。

Q6 高齢者の地域活動における施設整備や拠点施設の家賃助成制度の仕組みづくりについて伺います。

者からの要望等もお聞きしながら、自炊活動施設の充実やしゃくなげの湯の食材供給の活用など、宿泊・食事提供等の環境整備について、研究していく考えです。

Q3 観光イベント開催事業は、昨年より市長が関係団体に500万円の予算をつけるので開催してほしいと要請を行い、関係団体も開催を決定したと伺っていますが、予算計上までの経過についてお伺いいたします。

A3 商工会議所の有志の皆様が、本市の観光情報発信などを通じて、市民の心を元気にし、夢を

A6 「高齢者の活動の場の確保」に努めるとともに、本市に適した施策のあり方について研究していきます。

Q7 医療での安心できる地域の構築と地域間競争の影響及び行政の役割について伺います。

A7 市民の安全安心を守るため、これらの広域的な取り組みを関係自治体とも連携していきます。

Q8 沼須産産業団地に進出する利根中央病院への支援について伺います。

A8 利根保健生活協同組合による事業の進捗状況に留意し、遺漏の無い対応をしていきます。

与えることなどを目的に開催したいという思いから、小委員会を組織し、商工会議所内部で議論された結果、本年9月に開催したいとの要望が出されました。これを受けて、市として、事業を補助するという観点から予算計上したものです。

Q4 沼田まつりとの整合性とどのような算定から500万円になったのかお伺いいたします。

A4 考え方やその規模、また県内自治体の開催状況や市町村負担の状況などを勘案し、近傍類似の事例を参考に補助金額を算定いたしました。

しゃくなげの湯と
旧南郷小の連携活
用について

沼田市花火大会に
ついて

星野 稔 議員



しゃくなげの湯三百万人達成

Q1 大きな可能性を秘めたしゃくなげの湯と旧南郷小を核としたスポーツ及び勉強合宿の可能性について市長の見解をお伺いいたします。

A1 南郷小学校の活用は、これまでに沼田市青少年団体のネイチャーキットのキャンプや太田市自然体験ネイチャーキャンプ、板橋区野外活動自然教室などの自然を利用したプログラムによる野外活動、地域の文化活動、児童生徒等の学習の場として利用されています。

校舎や体育館を利用したスポーツ、勉強合宿地として適地で

あると認識し、今後も有効な利活用ができるよう方策等模索しながら取り組んでいく考えです。

Q2 学校を利用した宿泊・食事提供等の環境整備についてお伺いいたします。

A2 現在、旧南郷小学校での宿泊合宿については、各団体が教室等で寝袋等を利用したり、屋外にテントを設営して宿泊しています。入浴は、南郷温泉しゃくなげの湯を利用し、大変好評を得ています。食事は、持参した飯ごうや調理器具により自炊している状況です。

今後については、施設の利用



昨年の桜まつり

平成25年度予算案
について
行政構造改革につ
いて
沼田公園長期整備
構想について

星野 佐善太 議員



横浜商科大学との協定書調印式

企業誘致と観光振
興事業について
エネルギー・環境
推進事業について
安心・安全事業に
ついて

石井 紘一 議員

Q1 企業誘致と観光振興についてどのように進めていくのかお伺いします。

A1 横塚生品農工地区をはじめ、工場跡地等で企業の立地先として新たに情報提供に努め、沼田市の魅力や優遇制度等を紹介し、企業誘致を進めていく考えです。

観光振興事業は、県や周辺市町村と連携した観光キャンペーンへ積極的な参加、外国人旅行者の誘客方策の検討、旅行エージェン特に対するツアー造成の働きかけ、マスコミを活用したパブリシティの強化、大学と

連携した観光産業の活性化の検討、食や自然、歴史など観光資源を磨き上げるためのイベント開催など考えています。

Q2 椎坂トンネルの開通後の対応についてお伺いします。

A2 観光の面から見てもアクセスしやすい場所となることは大きなメリットに違いありませんが、逆にストロー現象により宿泊や食事の減少など客単価の低下も想定しなければなりません。

Q3 横浜商科大学との観光振興における連携協定についてお伺いします。

A3 横浜商科大学のノウハウと、

Q1 新年度予算の主な政策をどのように取り組むのか伺います。

A1 行財政改革を推し進め総合的なスリム化を図る中、第五次総合計画に掲げられている6つの施策の大綱を基本として、合併10年後を見据えながら後期実施計画の推進を図るべく「安全・安心」、「教育・文化」、「健康・福祉」、「産業・交流」及び「エネルギー・環境」を5つの柱として、創造性豊かで明るく元気なまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

Q2 振興局制度について、合併8年を経て椎坂トンネル開通が

見込まれるとき、合併10年後の対応について伺います。

A2 本市の将来を見据え、行政改革推進委員会の検討内容を踏まえるとともに、地元である白沢町地域協議会及び利根町地域協議会のご意見やご要望もお伺いし、それらを総合的に勘案しながら慎重に判断していきたいと考えています。

Q3 沼田公園長期整備構想について、時代に即した計画の見直しについて伺います。

A3 沼田公園長期整備構想は、沼田公園を核に市域全体の歴史・文化遺産を整備し、活用してい

首都圏で学ぶ学生の若い感性を本市の観光振興に役立てていきたいと考えています。

Q4 水力発電推進の現状と今後の取り組みについてお伺いします。

A4 固定価格買取制度による売電を想定した小水力発電と、短期間で設置が可能な環境教育用の小水力発電の適地・可能性調査を専門機関に委託して実施しています。

Q5 (仮称) 利南運動広場整備事業について、新年度どのような事業計画を予定しているのかお伺いします。

A5 サッカー、グラウンドゴルフ

くまちづくりの将来的な目標として平成4年に策定し、この構想を進めていく上で、基本的な考え方となる推進基本方針を定め、事業の推進を図ることとしたものですが、本構想策定以降の本市を取り巻く諸状況や社会経済環境そのものが大きく変化してきていることも事実でありますので、構想推進の方向については基本に据えながら、今後、総合的に検討いたします。

Q4 望郷ラインの県道昇格と同線が川田地区を通過する循環道の整備について伺います。

A4 望郷ラインの県道昇格と同

フをはじめさまざまな利用方法で市民に活用していただけるよう、新年度は道路に面している最上段部分、約2万2千平方メートルの整地、トイレ設置などの整備を考えています。

Q6 学校通学路の安全点検と安全確保対策について伺います。

A6 特に危険と思われる10校で18箇所把握され、段差の解消やグリーンベルトの表示などの対策を実施、安全確保対策は、危険箇所の把握と改善の依頼はもとより、引き続き交通安全に対する指導の徹底に努めていきたいと考えています。

Q5 フルーツをはじめとする観光農業の推進について伺います。

A5 農作物生産の取り組みを拡大するとともに、本市の代表的な観光資源である玉原高原、吹割の滝などと有機的な結合を図り、観光農園や農産物直売所などへの誘客増加に向けた取り組みを引き続き行っていきます。

平成25年度
主要事業の概要

平成25年度予算の施策、5つの柱に沿って、主要事業について説明します。

1. 「安全・安心」

市民生活の安全を確保する上で重要な防犯灯についてLED化を図るためのLED防犯灯推進事業、集落を定期的に巡回して住民の暮らして集落維持などをサポートする集落支援員事業、道路の安全確保として市道等改良事業、橋りょう補修事業、40立方メートル級防火水槽新設事業、消防施設整備事業を計上しました。

2. 「教育・文化」

継続して行う沼田中学校改築工事を含む小・中学校耐震診断・耐震補強事業、児童生徒の道徳教育の向上を図るための道徳副読本購入事業、沼田中学校国際交流事業、(仮称)利南運動広場整備事業、生方記念文庫移転事業及び生方記念文庫管理事業、屋形原南部地区遺跡群発掘調査事業を計上しました。

3. 「健康・福祉」

乳児の入院等の医療費を公費負担することで乳児の健康管理と健全な育成を図るための養育医療給付事業、児童手当支給事業、放課

後児童の安全・安心な居場所づくりとして学童クラブの充実を図る放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業、予防接種事業、健康診査事業を計上しました。

4. 「産業・交流」

望郷ライオン河岸段丘ビューポイントの駐車場整備を行う望郷ライオンビューポイント駐車場整備事業、新規就農者の定着促進を図るための新規就農総合支援事業、野菜王国ぐんま総合対策事業、小規模土地改良事業平出原地区及び小規模土地改良事業高戸谷地区、鳥獣対策事業、花火大会を

応援することで誘客等を図り観光振興を図るための観光イベント開催事業、観光宣伝事業、企業誘致推進事業を計上しました。

5. 「エネルギー・環境」

県内を持ち回りで実施する「ふるさとキラキラフェスティバル」を沼田市制60周年記念事業として開催する花と緑のぐんまづくり推進事業、地球環境に配慮した再生可能エネルギーとして水力発電を開発するための水力発電推進事業、放射性物質汚染対策事業、住宅用太陽光発電普及事業、廃棄物再生利用推進事業を計上しました。

平成25年度予算概要表 単位：百万円

会計区分	本年度予算	前年度当初
一般会計	20,439	20,566
特別会計	国民健康保険	6,601
	後期高齢者医療	594
	介護保険	3,933
	簡易水道事業	357
	下水道事業	1,680
	農業集落排水	166
	特別会計合計	13,331
水道事業会計	474	525
総合計	34,367	34,421

平成25年度
予算審査特別委員会概要

委員長に石井紘一議員、副委員長に島田富造議員を選出して、延べ76人、112件の質疑が行われました。一部ですが、概要を掲載いたします。

LED防犯灯推進事業

10,000千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 平成22年度から新設の防犯灯LED化は進めてきていますが、新年度からは、既設のものも含めて実施し、全灯LED化を加速するためのものです。

質疑趣旨 財政的効果と今後への考え方の詳細を伺います。

答弁趣旨 新設の場合、1基の設置に約3万円で、新年度に300基を設置として、年間電気料金が約55万円程度節減出来ると見込んでいます。

新年度のペースで事業を推進した場合でも、概ね5年で「全灯化」は達成できると考えていますが、平成25年度では、他市も検討しているエスコ事業やリース方式等を含めて、事業手法を本格的に検討していく考えです。

ふるさとまつり事業

2,800千円

質疑趣旨 金額のみで見ると、沼

田まつりの700万円に比べて高額に思えますが、内容の説明を願います。

答弁趣旨 白沢町内の住民相互のつながりや来訪者との交流の促進を目的として開催され、白沢町の観光振興を県内外へPRするものです。

具体的には、町内7地区の大人・子供みこしの競演や伝統芸能、地元特産物等の提供が主な内容です。

質疑趣旨 説明のような内容の事業に、住民の満足度向上へこれだけの額が必要でしょうか。

答弁趣旨 合併前からの伝統事業として新沼田市に引き継がれてきた経過があります。

ただし、行革委員会の委託事業見直し検討部会の方針や、合併時の方針である「段階的に調整」も踏まえて、創意工夫は加えていく考えです。

集落支援員事業

195千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 平成21年度から群馬県のモデル事業として、小松・柿平地区へ、支援員が月1回訪問し、生活状況を把握して地域住民の安心・安全へつなげてきたものです。

このモデル事業が終了するため、新年度からは沼田市の単独事業として予算計上して、引き続き住民と連携した安心・安全の確保を目指すものです。

○環境対策管理費

4,733千円

質疑趣旨 新年度新たに設置されるエネルギー対策室の構成と業務内容を伺います。

答弁趣旨 行政組織機構改革により環境課内に設置されるもので、室長の他係員が配置され、現在の環境係が担当している業務で、

- ①太陽光発電システム設置補助金支給事務②小水力発電の推進
- ③自然エネルギー研究会の運営を所掌します。

○水力発電推進事業

22,965千円

質疑趣旨 事業の規模と進め方を説明願います。

答弁趣旨 「売電」を想定した小水力発電施設の設計及び環境教育用の小規模な発電設備の設計及び工事の予算計上です。

また、水力発電には関係機関との調整や申請の際に、専門的知識が必要となるため、嘱託員の人件費を計上しました。

質疑趣旨 具体的には、どんな内容を考えているのか伺います。



利根町平川の砂防ダム

答弁趣旨 「売電」用では、砂防ダムを活用したものを考えていて、200KW未満で最大限の出力が得られるよう、データや資料を調査研究中です。

また、地域の雇用や活性化へもつなげたいと考えています。教育用では、500W程度の出力によるLED照明や発電量の掲示板の設置などを考えています。

○放射性物質汚染対策事業

218,717千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 除染で発生した汚染土砂の「仮置き場」の設計費用や学校、住宅以外の除染で、今年度に着手が困難な費用を新年度に新たに計上し、事業を継続するものです。

また、除染実施計画の方針に

ある本年8月末の空間放射線量を把握するための測定費用も計上してあります。

質疑趣旨 これまでに、どれくらい除染して汚染土壌が出て、校庭等の敷地内に現地保管してあるのか。今後はどう扱うのか伺います。

答弁趣旨 学校等の公共施設から約780㎡の汚染土壌が現地保管されていると推計しています。

今後は、汚染土壌の「仮置き場」として林野庁から国有林の提供の話があり、調整できれば、周辺住民へ説明を行い、早期に移設していく考えです。

○グリーンベル21

テナント出店促進事業費補助金

50,000千円

質疑趣旨 昨年の予算審査でも山の指摘があったはずですが、経過と内容の説明を求めます。

答弁趣旨 ご指摘の内容を受け止めて「補助金交付要綱」を作成して、経済建設常任委員会等へも報告をいたしました。

この間、数社からの反応があり、中には「先発の優位性」として、この地域で事業展開していかない業種の企業もありました。補助金を用意しての出店促進は、一定の評価も得ています。

質疑趣旨 所有者と沼田都市開発(株)の訴訟の状況と、補助金を出すことの整合性をどう考えているのか伺います。

答弁趣旨 昨年、メドテックインベストメントIIから管理費等の支払い義務は、存在しないとされた訴訟が起こされ、これまでに8回の公判が開催されましたが、未だ解決に至っていません。

沼田都市開発(株)に瑕疵があるとは考えていませんが、早期に解決し、マイナスイメージが払拭されることを期待しています。

質疑趣旨 沼田都市開発(株)の経営状況は厳しく、テナント誘致でさる環境にないのでは。また、ビルの85%を所有している企業とは一体的に運営をしていく状況にないのではないですか。

トラブル等の防止策を考えていますか。

答弁趣旨 管理運営会社と所有者の関係が良好でないことは、一体的運営の支障であると考えています。

今回の補助金計上は、様々な課題は内在しつつも「テナント出店」の一点に絞ったもので、沼田都市開発(株)経営検討委員会方針も受け、出資の範囲内で可能な支援を行っていく考えです。

○新規就農総合支援事業

10,500千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 青年の就業意欲の喚起と就農後の定着を目的とした総合的支援で、所得確保や技術習得の支援を行うものです。

質疑趣旨 対象者となる人の年齢を含めた諸条件の説明、さらには、補助金額はいくら支給されるのか伺います。

答弁趣旨 対象年齢は45才未満で、一人年間150万円、夫婦の場合は225万円の補助額で、最長5年間となります。

「新規就農」ですから農地の確保からという話になることが想定され、農業委員会なども相談に乗りつつ、本事業に取り組んで行くものと考えています。

○鳥獣被害対策実施隊報酬

13,572千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 鳥獣被害対策のための「特措法」により「実施隊」を組織し、対応を図るものです。

質疑趣旨 140名程度が組織されると聞くと、編成内容や処遇を伺います。

答弁趣旨 特別職非常勤職員として日当6千円を支給、半日当は3千円を支給することになりま

す。
現在は、8支部で11の捕獲隊があり、混乱なく本制度へ移行できるものと考えています。



花火大会開催予定地の運動公園

助金の妥当性の検討はどうされたのか伺います。

答弁趣旨 本年1月9日に商工会議所が機関決定をし、1月下旬に同会議所からの要望をいただいた際の花火大会への考え方、規模、近傍実施の状況を勘案し、政策判断として決定しました。

質疑趣旨 財政の厳しき折、各団体等への補助金を縮減してきている中、この大会への補助は、率・額ともに「破格」と感じざるを得ないが、近傍の花火大会との比較でなく、沼田まつりや桜まつりなど市内の同種のイベントとの比較で検討がされたのか伺います。

答弁趣旨 さまざまな事業には、経過があつて今日があり、個人や地域の負担も異なるので、行政の補助額による一律的な比較は困難であるし、すべきでないと考えます。

質疑趣旨 (消防の) 保安距離との関係で、大規模の花火は困難ではないかと考えるがどうか。

補助金支出の透明性は、どう確保していくのか伺います。

答弁趣旨 最近の花火は、規模のみならず、コンピューター管理による音声を含めた芸術的な志向も高まっていて、こうした個性

や独自性に期待をしています。

補助金は「沼田市補助金等に係る予算の執行の適正化に関する規則」によつて支出されませんが、さらに要綱を定めて適正化に努めたいと考えます。

○沼田給食センター管理費

146,155千円

質疑趣旨 放射性物質測定の結果と、食材の安全性確保に向け、どう取り組んできたのか伺います。

答弁趣旨 現在3つの調理場の食材を月2回、放射性物質測定を実施し、公表しています。また、昨年9月からは、一部の食材(タマネギ、白菜、キャベツ)を事前検査しています。

質疑趣旨 いわゆる「安全神話」は崩壊したが、その徹底が危惧されます。測定回数や事前検査品目の増品などの検討はされましたか。

答弁趣旨 価格や流通状況など様々な要素が重なっているが、安全性を確保した上で、地元の美味しい食材提供という立場で、今後検討していく考えです。

○(小学校) 教育振興管理費

22,589千円

質疑趣旨 学校医報酬について、児童の放射線による健康調査や

尿検査の改善に向けた検討の有無と今後の考え方について伺います。

答弁趣旨 「原発事故子ども・被災者支援法」に関する要望書が提出されるなど、心配される保護者の方々がいることは認識しています。

学校内で健康診断の一貫としての健康調査や尿検査は、検討しましたが、費用や施設の状態等もあり困難と考えます。

質疑趣旨 「医師問診」の具体的な改善や変更点がありますか。

答弁趣旨 内科検診の際、各家庭に配布する「健康診断事前調査票」に既往歴の他「心配なこと」を加える方向で今、医師会等と調整中です。

○文化財保全事業

88,495千円

質疑趣旨 旧沼田貯蓄銀行の平成25年度の保存事業内容とスケジュールを伺います。また、生方記念文庫移転について、内部設計の内容を伺います。

答弁趣旨 旧沼田貯蓄銀行では、本年度に実施した解体工事・調査をもとに工事のための復元建築実施設計、移築後の保存管理計画を作成し、利活用について引き続き検討する予定です。

工程は、平成26年度で復元移築工事に着手し、翌年度には報告書を作成する予定です。

生方記念文庫では、全国的にも数少ない短歌専門の資料館として、2階に2箇所の展示スペース、1階に物産等の情報スペースを配置する予定です。

質疑趣旨 旧沼田貯蓄銀行の建物の跡地利用の考え方を伺います。

答弁趣旨 利根郡内の各町村で共同所有していますので、手順を踏みながら、対応していく流れになると考えています。

また、二つの建物ともに、跡地の継承と記録等については、十分検討していく考えです。

○沼田花火大会補助金

5,000千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 沼田商工会議所のご発意により、市民に元気や夢を与え、地域の活性化と本地域の観光等を情報発信する趣旨で、開催されると聞いています。

具体的には、「沼田花火大会やるからには小委員会」で検討されている情報によりますと、昼からの開催や怒涛の大王200連発、沼田城を幻想的に花火で復活させる企画などが話し合われていると聞いています。

質疑趣旨 全くの新規事業への補



更地になった旧沼田貯蓄銀行

予算審査特別委員会 委員長報告要旨

3月19日採決の結果、議案第30号 沼田市小水道条例の制定についてから 議案第35号 沼田市教育委員会教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例についての条例6件については全会一致により原案のとおり可決すべきもの、議案第36号 平成25年度沼田市一般会計予算については、賛成多数で修正可決すべきもの、議案第36号 平成25年度沼田市一般会計予算の修正部分を除いた原案から議案第43号 平成25年度沼田市水道事業会計予算までの予算8件については、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

本市の財政状況は、現下の厳しい経済動向や地価の下落等を受け、市税等自主財源の伸びは期待できず、さらには、平成27年度からの地方交付税合併算定替の縮減を控え、依然として極めてひっ迫した財政運営を強いられています。

非常時の備え、あるいは長期的視野に立っての安定した財政運営に不可欠な財政調整基金の理論残高が、当初予算繰入後で

23億9,105万円、現金残高では、34億3,626万円と、いずれも前年同期に比較して5億円前後の上積みが見られたことは、堅実な財政運営の賜と認めるところです。

審査の過程では、市民生活の安全を確保するLED防犯灯推進事業について、住民生活をサポートする集落支援員事業について、放射性物質汚染対策事業について、地域福祉の推進を図る地域福祉計画策定事業について、「グリーンベル21」テナント出店促進事業費補助金について、観光振興を図る観光イベント開催事業について、利根沼田の金融史を語る上で重要な県指定重要文化財旧沼田貯蓄銀行保存整備事業について、(仮称)利南運動広場整備事業についてなどの質疑があり、本特別委員会は厳しい財政状況下での予算編成の努力を評価しつつも、一般会計については、修正可決すべきもの、修正部分を除いた一般会計と7件の特別会計等予算及び6件の条例については、原案のとおり可決すべきものと決した次第です。

平成25年度一般会計予算 修正案提案者説明

修正の一つ目は、第7款・商工費、商業振興費の第19節・負担金、補助及び交付金で、「グリーンベル21」テナント出店促進事業費補助金5,000万円を減額し、第13款、予備費へ振り替え、商工費の総額を5億5,545万6千円から5億3,420万6,000円とするもので

修正の二つ目は、第7款・商工費、観光交流費の第19節・負担金、補助及び交付金で、沼田花火大会補助金500万円を200万円減額し、第13款、予備費へ振り替え、商工費の総額を先ほどと同様、5億5,545万6千円から5億3,420万6,000円とするものです。

これら二つの振り替えにより、予備費の総額を5,200万円増額し、3,000万円から、8千200万円に増額とするものです。

次に、今回の修正案上程の理由について、申し上げます。

まず、「グリーンベル21」テナント出店促進事業費補助金ですが、昨年の平成24年第1回定

例会において本年同様、予算審査特別委員会で、多くの議員から質疑がなされ、その効果、適時性、方法、クリアすべき課題などについて指摘されました。

これらを受けて、各議員からは、この予算計上が無駄にならぬよう最大限のテナント誘致に取り組み、重要な場面では議会に報告をし、理解を求めながらことにあたるよう求める趣旨の討論が相次ぎ、新年度予算の執行を承認した経過があります。

最終日の市長あいさつにも、わざわざ「まちづくり支援事業」に重要事項として触れられておりました。

1年が経過し、本補助金は未執行のまま本定例会にも同額計上で提案されております。財政運営の厳しい本市においては5千万円という予算が、他の事業に生かされたならと考えると、とても市民に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

審査の過程においても、残念ながらこの事業が未執行に終わった分析も、指摘事項の改善策も明らかにならなかったと判断し、平成25年度における計上を修正、「予備費」とし、当局において速やかに再考を促すもの

です。

次に、観光交流費の沼田花火大会補助金ですが、厳しい社会情勢の中にあつて、昨年のオリピックのように、市民に夢や希望を与える事業になら意義を唱えるものではありません。むしろ、歓迎する気持ちでいっぱいなのは提出者一同の総意であります。

しかしながら、この間の沼田市の厳しい財政状況を受け、本市の取り組む「行財政改革」に必死に向き合い、しど、今日まで頑張ってきている市民の心情に想いを寄せたときに、議会としてそのプロセス、妥当性、他の補助金との整合性等において、市民にきちんと説明できるまでには至りませんでしたので、これを減額し当局において、すみやかに再精査を促すものです。



グリーンベル21の3階の様子

**平成25年度一般会計予算
修正案に反対討論要旨**

修正案に対する質疑の中で、残念ながら提案者からは減額分をどう手当てすべきかの考えが明らかにされませんでした。

現在の停滞した気運を盛り上げ、地域における沼田市の存在感を高めるためにも、9月のイベントとして市民有志と商工会議所が主体的に提案されたものであり、本事業をふるさと活性化の大きなシンボルとしての花火大会にすべきであることを考えるとき、今回の修正案は、市民の熱意に水を差すもの以外の何ものでもありません。

本事業は、経済界を代表する商工会議所の積極的な姿勢に呼応して、オール沼田の取り組みにすべき行事と考えるとき、修正案に反対するものです。

「グリーンベル21各テナント出店促進補助金」の全額予備費計上の修正案ですが、この事業は文字どおり、出店しやすくするための補助金です。

この補助金については昨年3月の予算審査特別委員会での質疑に「当面2年間に限定して」という答弁が当局からはされて

います。

当局においても、当時のさまざまな意見を踏まえて、財政運営上正当な補助要綱を制定し、所管委員会に報告し、質疑を受け、きちんとした手続きを踏んできたところです。

2年間にわたる予算措置は財政運営から考えても当然のことであり、予算計上は極めて理にかなった措置であると考えます。提案者は、空床率が増える中、

早急なテナント誘致が最大の課題と言いながら、修正案の内容は「グリーンベル21への個店の出店を歓迎しない、支援しない」とのメッセージを内外に発信することとなり、補助金カットは誘致そのものを否定しているものですので反対をいたします。

**平成25年度一般会計予算
修正案に賛成討論要旨**

本修正案については、土壇場に来ての提出で混乱を招いたという指摘がありました。しかし、経過を見れば、予算内示では時間に制限があり質疑はほとんどできないことと、事前審査になりかねないことを考慮しました。

全員協議会に至っては説明のみですので、3月18日の予算審

査特別委員会での質疑を受けて、提出者一同、熟慮の末、できる限り穏便な手法を選択しての提出となりました。

グリーンベル21テナント出店促進事業補助金についてでありますが、提案者の説明及び予算審査特別委員会での各委員からの質疑でも指摘があったとおり、当局は昨年6月、グリーンベル21テナント出店促進事業補助金交付要綱を策定しました。

しかし、所有者と市が60%を出資する管理会社が係争中であることと、補助金の交付条件に示されている「所有者及びその親族でない者」という規定、また、事業者の責務に示されている補助金の交付を受けた日から5年間は交付に係る事業を継続しなければならないという規定から、出店を決定するテナントがあるのか疑問です。

出店テナントがあつて補助金を交付することに反対ではありませんが、現在の状況は出店が決まっているという構図ではなくなっていると思います。本ビルの抱える問題の解決が先ではないでしょうか。

また、補助金交付要綱があるので、出店テナントが決まってい

からの補正予算でも対応が可能と判断したものです。

観光イベント開催事業、沼田花火大会補助金については、予算計上までの経過、他市町村を参考にしたという説明のあつた開催費用の3分の1、500万円の算定根拠は、市内の他イベントと比較して、市民の理解は得られないと判断をし、200万円を減額した額が妥当であると判断したものです。

**平成25年度一般会計予算
修正部分を除く原案に
反対討論要旨**

事業や新規就農総合支援事業、原発事故による放射性物質汚染の除染など一定の市民要求を実施していることは評価をします。しかし、低迷する本市経済状況や厳しい市民生活を克服し、切実な市民要求に応える予算にはなっていないと見ます。

保育園保育料を無料化に取り組み姿勢をとるとともに、最低でも第2子の半額軽減、第3子の無料化は、無条件で実施することが望まれます。

原発事故・子ども被災者支援法を昨年6月に成立させており、対象地域を選定しているところですが、手を挙げることでさえしてくれません。

LEDの防犯灯のイメージ



防犯灯のLED化や電気料の節約のためのPPSの導入など数年前から指摘してきた改善を実施したこと、また、水力発電

グリーンベル21へのテナント出店促進事業費補助金については、本市の財政状況や出店見込みがない中では賛成できません。出店がなければムダになってしまうという指摘をしてきましたが、そのとおりになっていきます。

道路補修事業費が前年度比、約30%減額になっています。市民の生活道路を守り、補修していく費用で、補修要望はたくさんあり、減額でなく増額こそ必要です。